

整理番号:

発送番号:112498 発送日:平成21年 8月18日

1/E

通知書

Issued on August 18, 2009

平成21年 8月13日

特許庁長官



特許提出者代理人 安富 康男 様

特願2005-515160

上記出願に対し、平成21年 7月10日付けで、刊行物等提出書による情報の提供がされましたのでお知らせします。

Appn. No. JP 2005-515160

提供された情報は、当該出願の「ファイル記録事項の閲覧請求」又は「ファイル記録事項記載書類の交付請求」をすることにより、その内容を知ることができます。

(注) オンラインによる閲覧可能な最大電文長はパソコン出願ソフト3の場合2MBです。刊行物提出書はイメージデータでファイルに記録されるため2MBを超えている場合がありますので、パソコン出願ソフト3をご利用の方はご注意ください。

(閲覧に関するお問い合わせは、特許行政サービス室閲覧担当(内線:2756)へお願いします。)

この通知に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。

国際出願課指定官庁

指定官庁3上席

電話 03(3581)1101 内線2644

ファクシミリ 03(3501)0659



[特許]2005-515160

[受付日]平成21.07.13

14.23 1/E

【書類名】 刊行物等提出書

【提出日】 平成21年 7月 9日 2nd

【あて先】 特許庁長官 殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2005-515160

【提出者】

【住所又は居所】 省略

【氏名又は名称】 省略

【提出する刊行物等】 (1) 特開昭56-109590号公報 (以下、刊行物1 という)

new



【提出の理由】

【事件の表示】

【発明の名称】 還元型補酵素Q含有組成物

【物件名】

提出の理由

【書類名】 刊行物等提出書
 【提出日】 平成21年7月9日 平成21年7月10日 差出
 【あて先】 特許庁長官 殿



【事件の表示】
 【出願番号】 特願2005-515160

20901290245

~~【国際公開番号】 WO2006/041945~~

【発明の名称】 還元型補酵素Q含有組成物

【添付書類】

【提出者】

【住所又は居所】 省略

【氏名又は名称】 省略

未 照 合

2 245

【提出する刊行物等】

(1) 特開昭56-109590号公報 (以下、刊行物1という)

【提出の理由】

以下、本願発明と各刊行物に記載された発明とを対比して説明する。

請求項	本願発明	刊行物1の記載
1	① シクロデキストリン、 ② 極性溶媒及び ③ 還元型補酵素Qを含有組成物 であって、 ④ 該補酵素Qが該組成物中に可 溶化されている (solubil ized) 組成物。	【請求項1、第2頁左上欄5～10行、同頁右上 欄9～左下欄4行】 ① β又はγ-シクロデキストリン 1モル ② 水 (シクロデキストリン水溶液とする) ③ 補酵素Q 10 1モル ④ 補酵素Q 10とβ又はγ-シクロデキスト リンとを反応せしめて得られる包接化合物が水 に可溶性となる、ことが記載されている。
23	シクロデキストリン、極性溶媒、 および還元型補酵素Qを、混合す ることを特徴とする、還元型補酵 素Qの酸化を防止する方法。	【第3頁 左上欄下から2行～右上欄3行】 実施例1～4による包接化 (シクロデキストリ ン溶液に補酵素Q 10を溶解・混練) により、 補酵素Q 10は光及び空気中の酸素に対して安 定となることが記載されている。

(本願請求項1及び23について)

本願請求項1にかかる発明について、上記に記載の通り、①～④の構成が刊行物1に記載されている。または、刊行物1の記載から容易に想到しうる発明である。

また、本願請求項23にかかる発明について、刊行物1には、シクロデキストリン溶解
 溶液に補酵素Q10を溶解・混練することによる包接化により、光及び空気中の酸素に対して

安定となることが記載されており、刊行物1に記載された発明である。または、刊行物1の記載から容易に想到しうる発明である。

結論

上記のように、本願請求項1及び2、3にかかる発明は刊行物1に記載された発明と同一の発明であるか、または刊行物1に記載された発明から当業者が容易に発明できたものであるから、特許法第29条第1項第3号、または同条第2項の規定により特許を受けることができないものである。

以上